

様式

和光南特別支援学校の活性化・特色化方針
(平成29年度～)

1 学校基本情報

種別	知的障害	学部・学科	小・中・高等部	児童生徒数	(男)208 (女)93	計 301
ホームページ	http://www.wakominami-sh.spec.ed.jp/comm2/htdocs/					
アクセス	東武東上線和光市駅よりバス5分 西大和団地下車 徒歩10分					
教育課程等の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の知的障害の状態や他の障害をあわせて有するなどを考慮し、指導の可能な内容を精選した教育課程・指導計画を作成している。 ・小中高一貫性ある指導に配慮し、次のような段階を追って内容を高めている。 身辺生活の確立や処理の習慣の確立。 集団生活に参加し社会的な活動を円滑に行う。 職業や家事に携わるために要する資質を培う。 就労に係る体験的な学習を行う。 ・平成28年度より高等部教育課程の複数化を実施するにあたり、これまでの課題別学習との整合性を保ちながら内容を整備している。 					
特色ある学校行事や部活動	<ul style="list-style-type: none"> ・全校一丸となって取り組む運動会、文化祭。 ・校内校外宿泊学習(遠足・修学旅行含む) 社会体験学習等を通じて、経験領域の拡大を目指している。 ・高等部に自主通学生徒を対象にした部活動(球技部)があり、朝・放課後・土曜日に練習を継続している。各種大会にも参加し少しずつ力をつけている。 					
家庭・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・懇談会、保護者会、授業参観・土曜参観を年間4～6回実施。 ・文化祭(たけのこ祭)ではPTAと協力して発表・販売等を実施。 ・近隣小中高校と交流会を実施。また、近隣小学校との支援籍学習を実施。 ・高等部では事業所・施設の協力を得ながら、職場見学や現場実習等を実施。 					
進路について	<p>一般就労17%、福祉就労77%、施設利用等6%となっている。</p> <p>【企業就労】清掃、品出し、ネットスーパー、印刷、園芸、製造ライン、廃品業等。</p> <p>【福祉的就労】戸田市・朝霞市・新座市・川口市・練馬区・板橋区等の福祉施設に就労。</p> <p>小学部・中学部の生徒は、それぞれ中学部・高等部へ進学。</p>					

(児童生徒数：H29.5.1 現在、進路はH29.3 卒業生の状況)

本校の魅力！

仲間とともに ころ豊かに たくましく

- ・ 保護者との連携で教育支援プランA・Bの内容を深め、教育課程の複数化を整備し、教員研修を行い、充実した授業づくりを進めています。
 - ・ 校内体制を整備し、学校行事の開催を工夫して、開かれた学校づくりを進めています。
 - ・ 和光市との福祉避難所協議、避難訓練と引取り訓練、一斉メールの整備、食物アレルギー対応等を通じて、健康で安全な学校づくりを進めています。
 - ・ 卒業後の進路を見据えて、企業・作業所・施設で現場実習を行ったり、卒業生の話の聞いたり、企業・作業所対象の校内見学会を実施したりして、進路指導の充実を進めています。
- 保護者の思い「子どもたちが安心・安全で、楽しく通える学校。必要な力を身につけさせてくれる学校」
- 子どもたちの願い「楽しく学べる学校。困ったことを一緒に考えてくれる学校」
- 教職員の願い「仲間と共に充実した生活を送れる力をつけ、将来の社会生活に必要な生活技術と社会性を身につける学校」



2 育成方針（児童生徒の成長物語）

本校の 特色

- ・高等部「教育課程の複数化」を進め、生徒の実態に合った3つの教育課程（重複、類型、類型）を編成・実施している。
- ・特別非常勤講師を4名配置し、専門分野の視点から、児童生徒の発達課題に沿った指導する上での助言を日常の指導に活かすと共に、保護者からの相談にも丁寧な対応を行う。

<「臨床心理士」「言語聴覚士ST」「作業療法士OT」「理学療法士PT」各指導者年間約35時間>

学習指導・生活指導

- ・保護者アンケート、面談、発達検査等を基に教育支援プランA・B作成。
- ・異なる障害特性や程度に応じた指導の工夫。
- ・指導の継続性を考えた学部経営案の作成と研修を実施。
- ・特別非常勤の活用と外部講師を招いた研修を実施。

進路指導

- ・生活単元学習で進路学習を実施。
- ・ハローワークや企業との情報交換会、事業所訪問等で情報収集。
- ・行政、施設、関係諸機関との連絡協議会を年2回実施。
- ・就職後アフターケア（就労支援センターと連携）実施。就職後の定着率100%。

自立と 社会参加へ

高等部

- ・中学部における目標をさらに充実発展させる。
- ・勤労にかかわる体験的な学習の指導を適切に行うようにし、働くことや創造することの喜びを体得し、望ましい勤労観や職業観を養う。



中学部

- ・小学部における目標をさらに充実発展させる。
- ・将来の家庭生活、社会生活に必要な知識と技能を身につける。

センター的機能

- ・コーディネーター派遣や支援籍学習引率のための工夫を実施。
- ・地域事例の校内研修会を実施。
- ・公開研修、コーディネーター研修会を実施。約100名が参加。

開かれた学校づくり

- ・他校との交流教育の実施
朝霞市立第八小
和光市立和光第二中
県立和光国際高
- ・家庭や地域と連携した防災対応（和光市福祉避難所協議、避難訓練、引取り訓練、一斉メール）
- ・各種研修会や講演会の公開

小学部

- ・心身諸機能の調和的発達を図る。
- ・基礎的な生活習慣を身につける。
- ・集団へ参加する能力や態度を養う。
- ・社会生活に必要な基礎的知識と技能を養う。

支援籍学習

- ・まつり、運動会等の学校行事参加。
- ・各教科・特別活動等の授業に参加。
- ・支援ボランティア養成研修を実施。

和光南特別支援学校は、地域の教育力と連携しながら、児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な教育を実施し、「生きる力」を育成します。